

■運営ボランティア

延べ3,000人を超えるボランティアが、開・閉会式や各競技会の運営を支えました。



両大会共通・その他

役員懇談会

福井県選手団
激励会

国体・障スポを支えた
県民の皆さん

来場者への
おもてなし

炬火・文化プログラム

両大会のPR

運営・施設整備

入賞記念品等



■情報支援ボランティア

開・閉会式会場や各競技会場等において、
「手話」「要約筆記」「筆談」により、聴覚障がいの方に情報を提供しました。



両大会共通・その他

役員懇談会

激励会
県民選手会

団体・障スポを支える
県民の皆さん

来場者への
おもてなし

炬火・文化プログラム

両大会のPR

運営・施設整備

入賞記念品等



しょ かん しゅう

所感集



運営ボランティア

出蔵 加津代

目いっぱい楽しんだ福井国体 感動をありがとう

運営ボランティアとして、6日間様々な活動に参加しました。業務内容は、スタッフの方が丁寧に手際良く教えてくださったので、スムーズに楽しみながら活動できました。

選手はもとより、応援や観戦に来県された方々と触れ合うことができ、多くの方から「福井はご飯がすごく美味しい。」といううれしい言葉を頂き、「さすが米どころ福井!」と誇らしく思いました。

天皇皇后両陛下を間近でお迎えすることができ、提灯奉迎にも参加し、経験したことのない感動に自然と涙がこぼれました。

剣道、陸上、新体操など、できるだけ観戦にも出かけました。観客の大きな声援、そして福井県の選手に送るひと際熱烈な応援・拍手。会場と選手が一体になる臨場感に生で観るスポーツの素晴らしさを体感しました。

天皇杯、皇后杯を受賞し最高の形で終えた「福井しあわせ元気 国体・障スポ」。私の人生で最後になるであろう地元開催の福井国体を目いっぱい楽しませていただきました。

国体・障スポの感動に関われて

私は、ボウリング競技の環境美化係として、ボランティアに参加しました。同じ福井銀行のメンバーとともに、お花の水やりやごみ袋の回収などをしました。会場周辺はお花のプランターがたくさんあり、選手・監督の皆さまも心が癒されたことでしょう。プランターひとつとってもそうですが、多くの関係者の手によって、国体・障スポが感動あふれる大会になったのだと感じます。

また、銀行内では、私の部署が中心となり、ボランティアの募集や案内、選手の応援を行いました。初めてのことでしたし、部署の人数も少なく、特に9月に入ってからは問い合わせの電話が続いている、キャパシティーを越えそうでした。でも、ボランティアや応援に参加した行員の皆さんのが、いい思い出になったと言ってくれたので、やりきってよかったです。

国体・障スポに深く関わって、忙しくも楽しい半年でした。この経験を活かして、これからも福井の発展のためにお力添えできればと思います。

近藤 孝成

元気を笑顔でつないだ親子ボランティア

50年前の福井国体では、当時中学生だった祖父が開会式でマスゲームをしたと聞いて、僕も50年ぶりの福井国体に、母と一緒に親子ボランティアで参加しました。

車いすに乗っている僕にも出来ること。それは無料ドリンクでのおもてなしでした。紙コップを手渡しするのも難しい僕たちに、全国の選手団の方たちが、そっと一步近づいて『ありがとう』と『笑顔』で受け取って、話し掛けてくれました。初めはとても緊張していたけれど、選手の方たちとお話していく中で段々と楽しくなってきました。僕が車いす陸上をしていることを話すと、スポーツの話で盛り上りました!選手団の方から、「君たちの『笑顔』のお陰で『元気』をもらえたよ!ありがとうございます。お互い頑張ろうね。」とハイタッチを交わしました。僕も選手の方々から、『元気』を沢山いただきました。笑顔って、みんなを幸せにして、元氣にするんだなあと感じました。この元気が、次期開催県の茨城へ。そして東京オリンピック2020に繋がっていくことを願っています。

最後に、車いすの僕にも国体ボランティアとして活躍出来る場を作って下さった国体推進局の皆さん。貴重な体験が出来ました。本当にありがとうございました。これを機に障がいのある人も、ない人も、みんな一緒に楽しく活躍出来ることが増えていくといいなと思っています。



親子ボランティア
福井県立福井特別支援学校

清水 龍樹 母 清水 かおり